

2. 川湯温泉エリアへ導入する体験・機能

他温泉地調査より、各温泉地を特徴付け、集客を図るための体験・機能の考察を進める。
これからの川湯に適した体験・機能の特徴を以下にまとめる。 ※ 6. 資料 (他温泉地調査) 参照

温泉地を特徴づける構成要素

有名温泉地別の構成要素の特徴

① 温泉体験

その土地ならではの温泉そのもののや、温泉を活用した体験

- ・ 象徴的な泉源
- ・ 日帰り入湯
- ・ 宿泊施設
- ・ サウナ等のリラクゼーション施設 等

- ・ 草津温泉：湯畑
- ・ 指宿温泉：砂湯
- ・ 雲仙温泉：雲仙地獄
- ・ 別府温泉：共同浴場 等



② 滞在を充実させる体験

温泉・景観・地元食材等を活用した温泉街での滞在を充実させる体験

- ・ 湯めぐり
- ・ ご当地食材グルメ
- ・ ライトアップや歩行空間の充実による歩いて楽しい街並み 等

- ・ 黒川温泉：入湯手形・湯あかり
- ・ 城崎温泉：外湯めぐり
- ・ 長門温泉：川床テラス 等



③ 温泉を除いた集客を促す体験

温泉以外を主な目的とした集客を促す体験

- ・ ネイチャーアクティビティ
- ・ 歴史的建造物や美術館 等

- ・ 鬼怒川温泉：オートキャンプ場
- ・ 定山溪温泉：ベーカリー等商業店舗群
- ・ 阿寒湖温泉：KAMUY LUMINA 等



①～③をバランス良く取り入れる事が温泉地を訪れるお客様の満足度向上につながる。特に温泉地の核であり唯一無二の資源である【①温泉体験】を最大限際立たせ、温泉街での滞りの楽しさを作り出す【②滞在を充実させる体験】を磨き上げる事が温泉地の骨格を作り、他温泉地との差別化に繋がると考える。

川湯に導入する体験の特徴

① 温泉体験

圧倒的な「湯の川」の体験

- ・ カルデラの森の中での入浴体験・・・川湯広場
- （「湯の川」への入浴
日帰り温泉
サウナ 等

② 滞在を充実させる体験

「湯の川」をメイン動線とした、温泉街の回遊を促す体験

- ・ 「湯の川」沿いをメイン動線とした街歩き・・・川湯テラス
- ・ 夜のそぞろ歩きを促す・・・川湯横丁
- ・ 交通規制や共同駐車場整備による歩行者優先の街づくり

③ 温泉を除いた集客を促す体験

国立公園にふさわしい自然体験

- ・ ロングトレイルの拠点機能・・・アウトドアセンター
- ・ 自然を満喫する体験機能・・・キャンプ場
- 森のアクティビティゾーン

まとめ

川湯温泉においては、川湯温泉の最大の特徴である【①温泉体験】「湯の川」を際立たせ、【②滞在を充実させる体験】として自然環境に包まれた歩いて楽しい温泉地としての街並みをつくり、【③温泉を除いた集客を促す体験】として国立公園にふさわしい自然体験が必要と考える。

「湯の川がつむぐカルデラの森の温泉街」

町の自然と大自然と

- ・ロングトレイル/川湯歩道
- ・森のアクティビティゾーン
- ・ウォークインキャンプ場
- ・屈斜路湖までの遊歩道整備

木漏れ日の中の温泉街

広がる滞在と入湯の選択肢

- ・既存ホテル+新規出店ホテル
- ・キャンプ場
- ・ウォークインキャンプ場
- ・RVパークキャンプ場
- ・日帰り温泉

居場所としての森を街中へ

- ・空地などの緑化と活用
- ・川湯テラス
- ・川湯横丁
- ・階段状のデッキ(泉源エリア)



MDリスト

01. 川湯広場(川湯ラグーン)
02. 日帰り温泉
03. 川湯テラス
04. 川湯横丁
05. キャンプ場
06. アウトドアセンター
07. 森のアクティビティゾーン

歩きまわりたくなる温泉街へ

- ・散策スポット
- ・車道歩道の再整備
- ・エリアの魅力が伝わるMAPサイン
- ・道しるべとなるサイン・照明計画
- ・川沿い遊歩道の整備

川へ面し、川が主役の街へ

目を奪われる川、入って感じることのできる川

- ・川湯広場(川湯ラグーン・足湯)
- ・源泉エリア
- ・川湯テラス
- ・川沿い遊歩道の整備

川湯温泉をおくり物に

- ・伝統工芸の購入・体験施設
- ・川湯ブランドの商品化、既存店への販売依頼
- ・お土産通り
- ・フォトスポット





